

# 愛知県精神医療センターで 鑑定入院中の患者の無断離院について

## 1. 患者の状況等

20歳代、男性、ブラジル国籍

身体的特徴：身長180cm程度、中肉中背、短髪、服装は着替えているため詳細不明であるが黒っぽい服装

## 2. 入院の状況

平成29年12月7日に鑑定入院のため、西2病棟（救急閉鎖病棟）の保護室に入院し、12月25日に一般病床（個室）へ移動

## 3. 無断離院の状況

本日（平成30年1月13日）

12:40 1階で勤務していた看護師長より、2階から黒っぽい服を着た外国人が飛び降りて走って行ったと報告あり。病棟内確認するが本人の姿はなく、男性トイレの窓が破損しているのを発見する。トイレの窓の解放制限の鍵を壊して外に降りた様子。病棟スタッフ3名、看護師長で周辺検索。当直医、当直師長、守衛に連絡。

12:50 当直医より110番通報。

自由が丘駅方面を捜索中の看護師2名が、当該患者が自由が丘交差点を横断し、煙草を吸いながら歩いているところを発見する。声を掛けるとすごい勢いで走り出す。履いていたサンダルを脱ぎすて裸足になって、覚王山墓苑内に走り込み、その後姿を見失う。引き続きその周辺を捜索するが見当たらなかった。当該患者のサンダルは回収し病院に持ち帰る。

13:00 警察官3名 来院。患者情報及び離院の情報提供を行う。

## 4. 現在の状況

現在も警察において捜索中。

## 5. その他

鑑定入院の対象事件：全治一ヶ月の傷害事件、不起訴処分

## 6. 参考事項

鑑定入院とは：重大犯罪にあたる行為を行ったものの、行為時において精神障害のために心神喪失等の状態にあったために不起訴等となった者に対して、医療観察法による入院または通院治療を受けさせるべきかどうかを鑑定するための入院である。裁判所の命令による入院である。入院期間は2か月から3ヶ月である。

# 鑑定入院中の無断離院患者 の発見、身柄確保について (愛知県精神医療センター)

- 1 発見の日時  
平成30年1月14日(日) 午後0時34分
- 2 発見の場所  
岐阜県可児市内 関係者宅
- 3 発見者  
愛知県警(県警本部、千種警察署等)
- 4 現在の状況  
13:37 名古屋地検の車両により精神医療センターへ到着  
13:40 西2病棟の保護室へ鑑定入院
- 5 本人の状況
  - ・落ち着いた様子で、怪我はなし。
  - ・体温、血圧等も異常なし。